

TEEN

英語教師のための情報誌

Vol. 51
SUMMER 2023

TEACHING ENGLISH NOW



特集

デジタル教科書(教材)の コンテンツの活用術

- 01 デジタル教科書の活用術[基礎編] 永井 剛
- 03 デジタル教科書を活用したWriting課題への取り組み 鳥居 敦子
- 04 デジタル教科書の良さを生かした、「聞く」力を高める指導の工夫 宮崎 洋人

連載

- 05 英語教師のための基礎講座 CAN-DOを活用して思考力・判断力・表現力を評価する 今井 裕之
- 06 Essay Teaching Resilience in the English Class Lucinda Okuyama
- 06 リクツで納得! 学校英文法の「文法」 Get a(n) (IN)DEFINITE answer! 巨理 陽一

SANSEIDO

デジタル教科書(教材)の コンテンツの活用術

GIGAスクール構想による端末の整備や、デジタル教科書の無償配布等を背景に、全国の中学校で、デジタル教科書(教材)を活用する機会が増えています。それらを効果的に使用して授業を行うためにはどうしたらよいのでしょうか。本特集では、NEW CROWNのデジタル教科書(教材)を活用した指導例を、永井剛先生、鳥居敦子先生、宮崎洋人先生にご紹介いただきます。

- 01 デジタル教科書の活用術[基礎編] 永井 剛
- 03 デジタル教科書を活用したWriting課題への取り組み 鳥居 敦子
- 04 デジタル教科書の良さを生かした、「聞く」力を高める指導の工夫 宮崎 洋人

デジタル教科書の活用術[基礎編]

永井 剛
(武蔵野市立第一中学校)



授業を考えるときに意識していること

毎回の授業では、流れとテンポを意識しています。また、教師側の説明や指示を最小限にして、生徒たち自身が活動できる時間を多くとれるように時間配分を考えています。その大きな手助けとなるのが教具であり、「デジタル教科書」を使うことでより効果的に授業を進めることが可能になります。

デジタル教科書の活用例

■帯活動

授業は、あいさつ、英語の歌、ペア活動での単語の確認やスキット練習、短めの文章を読むなどの帯活動からスタートします。指導者用のデジタル教科書にはたくさんのコンテンツが含まれているので、帯活動から授業終了時まで使用していますが、帯活動では画面下のタブにある「教材まとめ/授業ツール」の中の便利なツールをよく使用しています。

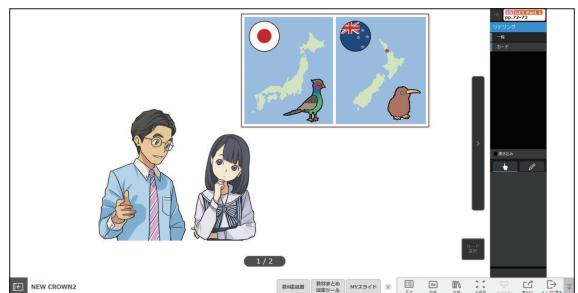


特に、タイマー、ストップウォッチ、リズム音は欠かせません。タイマーはカウントダウンだけでなく、カウントアップも使うことができるので重宝しています。単語の口頭練習では、これまでメトロノー

ムやリズムマシンを使用していましたが、「リズム音」が22種類も入っているので、飽きることなく楽しみながら練習できます。他にも「ルールレット」というものがあり、例えば生徒の人数を入力すれば、スピーチなどの発表時の順番をランダムに抽出してくれるので、いつも特定の生徒から始まるということを回避することができます。

■GETの本文の導入

GETの本文に入る前に、オーラルイントロダクションを行う際、ピクチャーカードを提示し、本文の内容を推測させるなど、生徒のスキーマを活性化させます。もくじから、本文を選択すると、ピクチャーカードでもその種類が選べますが、私は「リテリング」用のカードをよく使用します。絵を大きく提示し、教師の発話によるオーラルイントロダクションを行います。次に、教科書にあるQ&Aを黒板に提示しておき、本文の音声を聞くリスニング活動へとつなげます。このとき、「ピクチャーカード」を選択すると、絵と本文の字幕を見ながら音声を聞くことができますが、まずは字幕をオフにして音声に集中させています。また、本文の概要を理解させるために「アニメーション」を使うこともあります。動画なので、登場人物の動きなどに変化があり、場面と発話がわかりやすく、生徒たちも楽しみながら見えています。



■題材スキーマの活性化

BOOK 2 Lesson 5の場面は、ニュージーランドの姉妹校から中

学生が日本にやってくるという設定です。NEW CROWNでは世界の様々な国やトピックが盛り込まれていますが、生徒たちはその国のことを知っているようで、意外と知らなかったりします。そんな時「資料映像」を見せます。例えば、ニュージーランドの先住民であるマオリ族を社会科の授業で学習済みであっても、イメージとしてなかったりもします。動画はどれも2～3分なので、その後の活動への影響や生徒の負担も大きくありません。また、生徒たちにとって身近な動画コンテンツは、題材への興味や関心を引き出すだけでなく、トピックをより自分のものとして近づけることにも一役買っています。例えば、ALL BLACKSの動画が流れたときは、「ハカ、知ってます」といったようにうなずきながら見ていた生徒も多く見受けられました。



■新出語句の練習

本文の音読をする前に、新出単語の導入や確認をする際には「フラッシュカード」を使用します。英語のみ、日本語のみの表示にすることが可能で、さらに両方を出すこともできます。加えて、表示させる時間なども簡単に変更できるので、まさに文字通り、フラッシュしながら口頭練習ができます。発音とつづりにフォーカスしたいときは英語のみを表示し、意味を理解させながら発音練習したいときは英語と日本語を表示するなどして、指導の目的に合わせて設定を選択しています。



■本文の音読

本文の内容確認をしてから音読をします。ここで生徒たちは初めて教科書を開本します。画面上では「本文拡大」を提示します。発音は音声からだけでも推測できますが、サイドメニューにある「発音」の、強勢、イントネーション、音変化の設定をオンにすると視

覚情報が加わり、より発音を意識しながら音読練習をすることができます。モデルの音声の速さも変えられるので、通常のスPEEDで十分な音読練習ができたなら、あえてスピードを上げてチャレンジさせたりもします。他にも、音声の流れると同時に文字が消えていく「シャドーイング」もよく使用します。音読を通して本文の音声に慣れた段階で、音声と文字をマッチングすると同時に、リスニングをしながらアウトプットすることができます。



デジタル教科書を使用してよかった点

デジタル教科書を使用してみると、まず生徒たちの反応に驚かされます。そこには視覚教材が持つ潜在的なよさがあると思います。また、教師の立場からすれば、**教具を生徒たちに提示するまでの時間やその準備の時間が大幅に短縮できることも大きな利点です。**

デジタル教科書を使用する上での悩みや苦労

インターネット回線を使用するため、回線がダウンしていたり、システム上の問題が生じたりするとデジタル教科書そのものが使用できなくなります。また、操作方法がわからなかったり、教師の間で活用方法が共有できなかったりすると、そのよさが半減してしまうのも難しいところだと感じています。

今後やってみたいこと、その他の使用方法

勤務している市内では、生徒用のデジタル教科書が使用できるようになりました。今後は、生徒一人ひとりが端末を持っていることの利点を活かし、授業や家庭学習において端末上で辞書を活用する場面を設定するなどして、それぞれのペースで語彙を増やしていけるような仕組みを考えていきたいと思っています。

最後に

今回は授業内で使用している教師用デジタル教科書のコンテンツを中心に紹介しましたが、授業では生徒が自分の端末を使って動画を撮影したりするような活動にも取り組んでいます。**デジタル端末を活用すると、生徒たちのモチベーションも格段に向上します。**NEW CROWNとデジタルでの学習を融合させ、今後もより生徒たちが学びを実感できる授業を展開していきたいです。

デジタル教科書を活用した Writing課題への取り組み

鳥居 敦子

(大阪教育大学附属池田中学校)



総括的課題を見据えた授業計画

みなさんは、どのようなWriting課題をあたえているでしょうか。筆者は、**タスクを中心とした授業展開をベース**としている。トピックやテーマを中心に1単元を計画するため、**総括的課題としてのWritingやSpeakingの課題を決めてから、日々の語彙指導や文法指導を行っている**。例えば、中学1年の1学期は「Communication」をテーマとして単元を構成した。「Communicationは文脈や相手によってどのように変わるのか」という問いを立て、「友達に対する自己紹介」「会社の面接における自己紹介」「ホームステイ先へ送る手紙に書く自己紹介」など複数の課題を通して、どのようなcommunicationが最適かを生徒に考えさせる。

総括的課題については、必ずGRASPS (G=Goal, R=Role, A=Audience, S=Situation, P=Product, S=Standard) という課題の設定の仕方を行う。例えば、自己紹介の手紙を書く課題であれば「あなたはホームステイをする予定の日本人学生で、自分のことを前もって知ってもらうため、ホストファミリーに手紙を書く。ホストファミリーは、△△を趣味にしている父親・〇〇の職業の母親・3歳の男の子だ。現地で円滑な人間関係を築けるよう内容を考えて自己紹介の手紙を100字程度で書け。評価基準は…」といった課題の出し方だ。こうすることで、**文脈などによって内容や表現が変わることについて生徒に気づきを促すことができる**。そして、その自己紹介に必要な文法や単語を教科書のLessonを通してinputしながら総括的課題に備える。

1年 Lesson 5 USE Write 学校紹介

2学期は「Culture」をトピックとして単元を計画し、総括的課題はWritingでパンフレットの作成とした。課題設定は「あなたは、海外に留学をしている学生です。留学先と日本の文化の違いでの転換を避けるため、日本独自の文化についてパンフレットを作ることになりました。読み手は、留学先の同じ学校に通う学生です。」である。

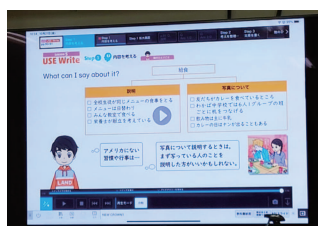
October 22, 2022
Dear Students of Ikeda junior high school attached to Osaka kyoiku university,

My name is Angel. I am a teacher at Binjiang experiment junior high school in Taiwan.

Thank you so much for being the sister school.

My students are interested in school life in Japan. I'd like my students know the real time school life.

まずは、左下のように、Lesson 5 USE Writeの教科書紙面の場面設定をアレンジし、本校の姉妹校である台北市立濱江実験国民中学校の先生からのパンフレット作成のお願いの手紙（左段・下）を提示した。そして、Lesson 4でイギリスの文化を、Lesson 5でアメリカの学校生活を学んだあと、Lesson 5 USE Writeのデジタル教科書を使って、英文作成の手順を確認した。



上の写真は、デジタル教科書を生徒に提示しているところだ。このページのデジタル教科書には、「陸のひとりごと」として、内容面や形式面についてのアドバイスが動画の中で出てくる。そのアドバイスが出るたびに一度動画を止めて、生徒に補助的な教材を与えたり、メモを取る作業をさせたりしながら説明を行った。

例えば、「写真について説明するときは、まず写っている人のことを説明した方がいいかもしれない」と出た時は、現在進行形の形をもう一度確認した。「アメリカと異なることを紹介しよう」と出た時は、教科書本文で出てきたアメリカの学校生活の特徴を振り返り、また、本課題を台湾の姉妹校へのパンフレットにアレンジしているので、インターネットで、台湾の学校生活について生徒に調べ学習をさせた。

また、実際に生徒がパンフレットを作る段階になったら、教科書紙面をもとに、生徒が書き込めるようなワークシートをロイロノートで資料（左下）として配布し、教科書に沿って作業ができるようにした。

そしてできあがったのが右下のようなパンフレットの1ページである。（紙面の関係上一部分のみ掲載）

紹介したいこと
①台湾の人に紹介したい、この学校についてのアイデアを出そう
(例) 〇〇の授業、食ごはんの様子 など。

紹介したいこと
(台湾の学校で紹介する学校生活)
②内容を一つに決めて、説明したこと、載せる絵や写真を決めよう

説明

写真

WONDERFUL FUZOKU CAMPUS



On this page we are going to talk about our campus life and especially about courtyard in our school.
Please look at this picture.
This is the courtyard in our school. Here we could study, play tag and even sleep on the bench. Also, from this

デジタル教科書の良さを生かした、「聞く」力を高める指導の工夫



宮崎 洋人
(高崎市立倉洲中学校)

Take Action! Listenを活用した「聞く」指導の実践例

私は、英語の授業では、原則として小学校での外国語科・英語科の授業の核となっている、音声でのやりとりを中心とした「聞く」「話す」学習活動から、文字を介した「読む」「書く」学習活動へ進めることを心がけている。生徒の意識も、「おおまかに、即興的に」理解、表現することから「具体的に、正確に」理解、表現するように深化するよう支援している。間違いを恐れずに各活動に取り組みせ、級友との対話やICT機器を用いた学習成果の共有等を通して自ら間違いに気づかせ、より具体的な表現を身につけさせることで、伝えたいことをより正確に、かつ即興的に伝えられる生徒の育成を心がけている。その上で、「聞く」活動は新しく出会う表現を用いた最初の活動であり、目的や場面、状況を判断する上でも重要な活動であると考えている。

以下に、Take Action! Listenの指導の実践例を示す。NEW CROWNでは、ねらいを明確にした活動を通して、目的や場面、状況に応じて聞く力を養うためにTake Action! Listenが用意されている。私が指導する際に重視していることは次の二点である。

- ・聞く目的が「必要な情報を聞き取る」「概要を聞き取る」「相手の伝えたいことを聞き取る」のどれにあたるかを明確にする。
- ・タイトルにTake Action!と加わっている意味を考え、聞き取った内容を踏まえ、InputしたことをOutputで活用できるようにする。

<NEW CROWN 3 Take Action! Listen 4の実践のめあてと学習>

Today's Goal

自分にとって興味・関心のあるニュースについて、英語で紹介しよう!

Today's Menu

- ①Small Talk
- ②内容の予想★
- ③概要のメモ★
- ④内容の確認★
- ⑤Retelling Practice★
- ⑥Let's Write!

★…指導者用デジタル教科書を使って進める活動

Take Action! Listen
を使って進める活動

実践の概要について順に説明していく。

①Small Talk まず、Small Talkでは、普段の生活と本時の学習を自然な流れでつなげた。また、試しの活動として、自分にとって興味・関心のあるニュースについて、生徒同士で会話をさせた。

②内容の予想 当該題材は新生物発見に関するニュースであり、やや社会的なものであったため、多くの生徒が自分にとって興味・関心のあるニュースについて、既習事項を活用して英語で紹介することに苦労していた。そこで、本時の聞き取りを中心とした活動を通して、自分にとって興味・関心のあるニュースについて英語で紹介する際に有効な表現も確認するよう意識づけた。

③概要のメモ 教科書の内容を聞き取る活動では、まず何も見ないで英文を聞かせ、概要をメモさせた。その後、指導者用のデジタル教科書を活用し、教科書のSTAGE 2 Listenのメモを示し、再度聞かせた。

④内容の確認 さらに、全体でニュースの内容を確認した後、巻末のAudio Scriptsを見せながら、内容の詳細だけでなくニュースについて紹介する際に有効な表現を確認し、音読させた。

⑤Retelling Practice 終わった後は、Small Talkで出てきた話題をいくつか取り上げ、Audio Scriptsに出てきた表現等を参考にしながら、「ニュースの内容+事実の詳細+個人の意見」の流れを意識してRetellingに取り組みさせた。

⑥Let's Write! そして、本時の学習のまとめとして、自分にとって興味・関心のあるニュースについて紹介する英文を書く活動をタブレットを用いて行った。BONUS STAGEは後日、復習用の課題として取り扱うこととした。以下は、ある生徒が実際に書いた記述例である。

<学習の最後にある生徒が書いた記述例>

Q: What news are you interested in?
A: I'm interested in the news about BTS. The oldest member of the group, Jin will enter military service. I feel sad because group is not together, and Jin is my favorite. I knew that he would enter the service someday, but that news was announced suddenly, so I was shocked.

指導者用デジタル教科書活用のメリット

- ・フラッシュカードやピクチャカード等の機能により、活動間の移行がスムーズにできる。
 - ・発音を確認したい英文の音声をピンポイントで確認できる。
 - ・注目させたい内容について、生徒の視線を容易かつ瞬時に集めることができる。
 - ・個別最適な学びとして、特に英語を苦手とする生徒を対象に、文字での支援をしながら聞く活動に取り組みさせることができる。
- 今後もデジタル教科書を活用した指導のさらなる可能性を追い求めていきたい。

CAN-DOを活用して 思考力・判断力・表現力を評価する

今井 裕之 Imai Hiroyuki (関西大学)

はじめに

新しい観点別評価も2年目になり、疑問点もいくらか解消されて新しい評価方法に馴染んできた一方で、疑問点や問題点も明らかになってきた頃かと思います。今回は、そのような疑問点、問題点について考えてみましょう。

疑問点 1 知識・技能は一体？ 思考・判断・表現との境界は？

資質・能力の3つの柱（知識・技能、思考力・判断力・表現力、学びに向かう力・人間性）は、本来、外国語能力とは異なる枠組みであり、学校教育全体で育成する人間像です。よって、その枠組みの境界線が外国語能力と合致しないのも当然で、以下のようなお話を聞くことがあります。

知識と技能を常に一体で、内容のまとまり（＝5領域）ごとに評価しようとすると、例えば、「関係代名詞を含む文を、聞いた後読みだりして理解し、話したり書いたりして表現すること」が必要になりますが、言語材料ごとに技能領域全てでテストするのは現実的ではありません。筆記試験では文法問題を「読むこと」に近づける（並べ替え問題より、文脈に合った文法項目を選択する問題にする）ことなどを心がけることが大切ですが、それも大変です。

また、パフォーマンス・テスト（思考判断表現テスト）では、特定の文法事項の

知識・技能を評価するために、その文法を使用させ、正確さを確認することを要求すること（使わなかったら知識・技能を減点する）は、評価を複雑にし、言語活動を歪めることにつながりかねません。

このように外国語能力と異なる学力の枠組みを援用することによる混乱は起こりまじ、特に「知識・技能」を基礎として「思考力・判断力・表現力」につなげる発想は問題を引き起こしがちです。

疑問点 2 CAN-DO＝ 思考力・判断力・表現力？

かといって今回の学習指導要領は改悪かということそうではありません。今回の学習指導要領の目標はCAN-DO（能力記述文）で書かれています。「読むこと」の目標を例に、CAN-DOの構成を確認しましょう。

- 話題：日常的な話題について
- 英語：簡単な語句や文で書かれた短い文章の
- タスク：概要を捉えることができる

このようにCAN-DOは、「どんな話題について、どんな英語で、何ができるか」を基本構成とするため、学習指導要領の定義にある思考力・判断力・表現力等＝「コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考

えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力」のうち、「コミュニケーションを行う目的や場面、状況」以外を全てカバーする、とても便利なツールであるといえます。

疑問点 3 思考力・判断力・表現力から 評価を考えるべき？

以上から各単元の目標として設定したCAN-DO（＝どんな話題、どんな英語、どんなタスク）に、コミュニケーションの目的・場面・状況を設定して思考力・判断力・表現力を評価するのが適切だと言えます。「目的設定が難しい!」との声も多いです。確かに例えば「読むこと」の場合、読むこと自体を楽しむのが目的とも言えます。むしろ「目的」の捉え方は、読みもののジャンル（論説文、物語文、ポスター等）に合わせて、読むべきポイントが要点、概要、情報のどれなのかを意識することであり、それを評価することが大切でしょう。

学習すべき文法事項が系統的に配列されている中学校の学習課程を考えると、知識・技能ではなく思考力・判断力・表現力の方から評価を計画するのは困難に思われるかもしれませんが、到達目標がCAN-DOで設定されている現在の学習指導要領の設計を生かして、目標とする言語活動の設定から評価計画を始めてみませんか。



Lucinda Okuyama (Tokyo University of Foreign Studies)

For some students, speaking English can be fun and exciting, but for others, it can feel scary and overwhelming. Language learners have so many different *thoughts* and *feelings* when they must speak a different language. They even *act* differently when the challenge of speaking a new language is just too much!

Research shows that many Japanese students often feel nervous when they speak English. This specific type of anxiety is called Foreign Language Anxiety (FLA). Japanese students often have no idea how to deal with their anxious feelings. Most researchers agree that to deal with FLA students must work on their *negative feelings, thoughts, and actions*. Even the most fluent students have fears and insecurities when it comes to learning language. However, what sets successful students apart is that despite facing some challenges, they bounce right back like a *daruma* doll. In Japan, it is said that *daruma* is a symbol of goal setting

and perseverance. Its rounded shape allows it to bounce back to its original position if knocked down. *Daruma* shows us that we can bounce back even from the most difficult times.

But to bounce back like *daruma*, students need to have some resilience strategies. Research shows that successful students implement 3 key strategies: 1. They reframe anxious feelings as excitement. 2. They see their classmates as supporters rather than competitors. 3. They try not to be perfectionistic and don't dwell on mistakes.

There are various other strategies, so encourage your students to explore this topic further. As teachers we can be aware of the stress that students are under and remind them that even if they do experience FLA, they can develop resilience strategies and bounce back and face their challenges.

He, D. (2017). "How to Cope Foreign Language Speaking Anxiety Effectively? The Case of University Students in China" *Electronic Journal of Foreign Language Teaching*, 14(2): 159-174



リクツで納得! 学校英文法の「文法」 巨理 陽一 (中京大学)

Get a(n) (IN)DEFINITE answer!



「This is a pen.なんて習っても、実際は使わない」というのは、このことが教科書や授業の実態とズレようになってもお学校英語にたびたび向けられてきた、ザ・見当違いの批判である。私自身はその例文を教科書で学んだ世代ではないが、英語を学び始めてこの「批判」を耳にした際に脳裏に浮かんでいた疑問は、日常会話で使うことがあるかどうかよりも、「なぜa penであって、the penではないのか」ということだった。ペンを見せながら言っているとすれば、指しているモノは自明なのだからthe penでもよさそうなのに。関係代名詞節で持っているペンに言及する時はむしろthe pen I haveの方がありそうに思われるが、a pen I haveとでは何が違うのか。私のような偏屈な学習者が教室にいる可能性はそれほど高くないと思われるものの、備えておくに越したことはない。

“the”は定冠詞と呼ばれる。この「定」は、名詞句が指し示している事物を特定できるという性質に関係している。これは、例えばBring me the ladder!と言われた際、持ってくるのがどのハシゴなのかはお互い了解しているはずであるように、「どの○○?」という心の中の質問への答えが話し手・聞き手にとって明らかだということである (Huddleston & Pullum (Eds.). (2002). *The Cambridge Grammar of the English Lan-*

guage. Cambridge University Press. pp. 368-372)。したがって、文脈の中で一度持ち出されれば「先ほど言及したアレ」と特定することができるし、持ち出されていなくても、the worldやthe left sideのように、それが物理的・論理的に一つしかない場合は特定できる(と話し手はみなしていることになる)。NEW CROWN (以下NC)の“The person holding a binder is a volunteer guide.” (NC3, p. 36)という丘先生の発言は、現在分詞を用いた修飾によって、話を聞いている生徒たちにも特定可能な人物を指しているののでtheがつくというわけである。the pen I haveを用いるのは、(例えば私が愛用しているペンを知っている人に対して)「私を持っているあのペンのことだけださ」といった話をする場合であろう。

“a”は、そうした特定を示さないことから不定冠詞と呼ばれる。Bring me a ladder!と言うのは、見える範囲に2つ以上のハシゴがあるか、逆に全くハシゴがない状況で、どれを指しているかが話し手・聞き手に特定できない、あるいは特定することが重要ではない場合である。つまり、同じ○○は他にも存在するが、そのうちの1つであるということ、あるいはそのメンバーであることを表す(前者の場合、1という数を強調する場合はoneを用いる)。ジンが“the Japan Expo in France”を

既に特定していても“It is a big annual event that introduces Japanese popular culture to the world.”(NC3, p. 52)と言うのは、そうした大きい年次のイベントは他にもあるが、そのうちの1つなのだと言っている性格を説明するためである。つまりThis is a pen.が会話で自然になるのは、それが何なのか分からない(一見ペンには見えない)相手に「ペンですよ」と教えてあげる場面であり、a pen I haveを用いるのは、「複数持っているペンの内(聞き手にはそれがどのペンなのか特定できない)1本」に触れようとする場合、ということになる。例えばペンがイベントの限定品で、それを知っている相手に見せびらかす場面であればThis is the pen!と言う可能性もあるわけだ。

The Chainsmokersの“Call You Mine”という曲で、別れに向かいそうな相手が言う“I never regretted the day that I called you mine”(あなたを私のものだと言った日のことは後悔していない)という台詞は、何度もそういうことを言った日々の中の1日ではなく、2人が特定できる特別な「あの日」のことを指している。だからこそ、別れを望まない側が、その言葉を受けて(心の中で)叫ぶ“So I call you mine. Can I call you mine?”という歌詞が「だったら…」と切なく響くのである。

紙でも! デジタルでも! やっぱりジュニクラ!

オールカラー!
シリーズ累計売上
1,800
万部!

ジュニアクラウン

中学英和辞典 第14版・和英辞典 第12版

徹底的な教科書分析で小・中の英語学習を接続!

●ジュニアクラウン 中学英和辞典 第14版

- ・学習する語数の多い中学校の英語学習にも総項目数17,000でしっかり対応。
- ・新語も多数収録。

app(アプリ)、drone(ドローン)、haral(ハラールの)、sustainability(持続可能性)、SNS、coronavirus(コロナウイルス)...

- ・小学校・中学校の英語教科書を全書名分析、**小中**マークで反映!
- ・中学校向け英和では最大の用例数約17,500で語の使い方がしっかりわかる!

●ジュニアクラウン 中学和英辞典 第12版

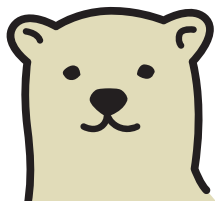
- ・自己表現活動が増える中学校の英語学習にピッタリ!
- ・項目数23,000の圧倒的な情報量!
- ・表現活動に役立つ、語句の用法やニュアンスを示す用例を約19,200収録!
- ・基本文型、類義語の使い分け、カタカナ語など「話す」「書く」に役立つコラムが満載!



田島伸悟・三省堂編修所[編]
B6判 オールカラー 832ページ
定価1,980円(本体1,800円+税10%)



田島伸悟・三省堂編修所[編]
B6判 オールカラー 640ページ
定価1,980円(本体1,800円+税10%)



この辞書、
スマホでも
引けます。

辞書の Web アプリが使える特典付き!
紙 + デジタル
さらに使いやすく
さらに深める
紙にプラス + 学びがプラス



詳しくはWEBサイトで

*「ことまな+」はどんなデバイスでも使えるWebアプリです。
ご利用にはシリアルコードが必要です。詳しくは本辞書の最終ページをご覧ください。

Junior CROWN

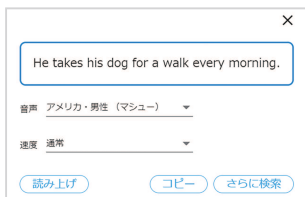
マルチプラットフォームライセンスで
いつでもどこでも! 3台まで利用可能!



Powered by **DONGRI**

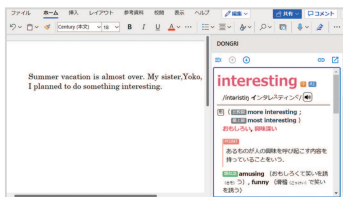
「辞書アプリDONGRI×ジュニアクラウン」で1人1台を活用した学習をパワーアップ!

1 英単語の発音が聞ける! 例文の再生も!



見出し語の発音が聞けるのももちろん、例文の音声再生も可能。
話者を男性・女性、成人・子ども、米国・英国・インドの発音に変えることや、再生速度を変えることもできます(Web版)。

2 WordやGoogleドキュメントで辞書が使える!



DONGRIはOffice(Web版)とGoogle Workspace用にアドインを提供。WordやGoogleドキュメントと同じ画面にジュニアクラウンを表示させながら、英語の学習に取り組むことができます。

3 「ダッシュボード機能」で利用状況がひとめでわかる



一括採用校の先生向けに「ダッシュボード機能」を提供。アカウント設定、利用状況の把握、辞書の利用を促進する教材のダウンロード、サポート窓口への問い合わせ等を一元化し、導入から利活用定着までシームレスに支援します。

価格、サービスの詳細はお近くの弊社担当者までお問い合わせください。

辞書アプリDONGRIは EAST EDUCATION の製品です **EAST EDUCATION** イースト株式会社 HP <https://www.east-education.jp>

三省堂 教科書・教材サイト

<https://tb.sanseido.co.jp/>

▶▶▶ 「ICT実践事例紹介」・「授業レポートプラス」公開中!

三省堂

〒102-8371 東京都千代田区麹町5-7-2

※この冊子は、一般社団法人教科書協会が定めた「教科書発行者行動規範」に則って配布しております。